

**平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)**

平成23年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社  
 コード番号 3390 URL <http://www.u-s-systems.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 青木 毅  
 (氏名) 小倉 哲雄

TEL 03-6690-9815

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年3月期第2四半期	2,545	30.5	△197	—	△217	—	△415	—
23年3月期第2四半期	1,950	—	82	—	76	—	△49	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △441百万円 (—％) 23年3月期第2四半期 △48百万円 (—％)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△1,085.02	—
23年3月期第2四半期	△143.66	—

(注) 連結経営成績につきましては、平成22年3月期第3四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の対前期増減率については、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	％	百万円	％	％	％
24年3月期第2四半期	2,316	—	749	—	29.3	—
23年3月期	2,746	—	1,189	—	40.1	—

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 677百万円 23年3月期 1,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	5,500	21.5	200	155.9	200	191.1	△100	—	△260.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	383,361 株	23年3月期	383,361 株
24年3月期2Q	— 株	23年3月期	— 株
24年3月期2Q	383,361 株	23年3月期2Q	342,624 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる結果になる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当年3月11日に発生いたしました東日本大震災及び原子力発電所事故の影響により、経済活動が一時的に停滞したものの、企業の生産活動が回復するにつれ、持ち直しの動きが見られた一方、ギリシャの財政不安が再燃し、瞬間に欧州市場を呑み込む金融危機に発展しております。これら世界経済の変調と円高の長期化に加え、企業が海外投資を増やすことで産業の空洞化が進み、雇用に影響を与えるなど、今後の景気が下押しされる懸念があります。

一方で、スマートフォン・タブレット端末関連領域においては、次々と話題の新商品・新機能が発表され、ユーザーニーズの新たな創出により、事業機会の拡大が鮮明なものとなっております。

このような情勢の下、当社グループは、スマートフォン・タブレット端末関連事業を事業の柱とした、飲食業界向けのスマートフォン・タブレット端末サービスの開発、教育支援Eラーニングシステム「F-PLAT」のコンテンツ強化、スマートフォン・タブレット端末向けの遠隔サポート事業など、徐々に事業が成長し、手応えを感じております。

売上高につきましては、システム事業セグメントは、飲食事業者向けソリューションにおいて、既存顧客との取引が堅調に推移し、さらにタブレット端末を活用した新サービスの提供が市場の需要拡大により順調に伸びております。教育人材事業セグメントは、昨今の経済不安定による企業の人材教育への投資需要低下などの影響を受け、前年同四半期比で売上は減少しております。コールセンター事業セグメントは、スマートフォン・タブレット端末の遠隔サポート事業が軌道にのり、順調に成長しております。直販事業セグメントは、スマートフォン・タブレット端末を中心とした話題性のある新商品に特化し、顧客のニーズに合わせていくことで、販売数が増加となりました。

収益面につきましては、引き続き新規事業の展開による体制強化、スマートフォン・タブレット端末サポート事業を中心とした今後の事業拡大のための積極的な投資を行った結果、販売費及び一般管理費が増加することとなりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,545,117千円（前年同四半期比30.5%増）となりましたが、利益面につきましては、営業損失197,330千円（前年同四半期は営業利益82,859千円）、経常損失217,626千円（前年同四半期は経常利益76,501千円）、四半期純損失415,955千円（前年同四半期は四半期純損失49,221千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

- ① システム事業は、売上高822,726千円となり、セグメント利益118,363千円となりました。
- ② 教育人材事業は、売上高714,117千円となり、セグメント損失60,950千円となりました。
- ③ コールセンター事業は、売上高440,805千円となり、セグメント利益14,616千円となりました。
- ④ 直販事業は、売上高567,466千円となり、セグメント利益45,987千円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて460,269千円減少し、1,258,198千円となりました。これは主に現金及び預金が352,411千円、売掛金が51,758千円減少したことなどによりです。固定資産は、前連結会計年度末に比べて32,481千円増加し、1,053,683千円となりました。これは主に投資有価証券が22,822千円増加したことなどによりです。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて429,447千円減少し、2,316,616千円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて138,748千円減少し、1,092,050千円となりました。これは主に短期借入金が90,000千円、未払法人税等が77,879千円減少したことなどによりです。固定負債は、前連結会計年度末に比べて149,232千円増加し、474,622千円となりました。これは主に長期借入金が169,735千円増加したことなどによりです。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて10,484千円増加し、1,566,673千円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて439,931千円減少し、749,942千円となりました。これは主に四半期純損失415,955千円を計上したことなどによりです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点では、平成23年11月8日に公表（「業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」に記載）した業績予想から変更はありません。

なお、業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに開示する予定です。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	767,332	414,921
売掛金	746,997	695,238
たな卸資産	62,784	45,240
その他	173,998	113,441
貸倒引当金	△32,643	△10,642
流動資産合計	1,718,468	1,258,198
固定資産		
有形固定資産	57,185	59,889
無形固定資産		
のれん	508,911	467,253
その他	128,937	148,435
無形固定資産合計	637,849	615,689
投資その他の資産		
投資有価証券	220,285	243,107
その他	129,517	340,060
貸倒引当金	△23,636	△205,062
投資その他の資産合計	326,166	378,105
固定資産合計	1,021,202	1,053,683
繰延資産	6,392	4,733
資産合計	2,746,063	2,316,616
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	188,202	180,879
短期借入金	240,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	104,249	212,526
未払金	370,476	406,787
未払法人税等	88,185	10,305
賞与引当金	9,417	26,877
その他	230,267	104,674
流動負債合計	1,230,799	1,092,050
固定負債		
長期借入金	284,244	453,979
その他	41,145	20,642
固定負債合計	325,389	474,622
負債合計	1,556,188	1,566,673

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,454,497	1,454,497
資本剰余金	1,813,347	1,813,347
利益剰余金	△2,164,771	△2,580,726
株主資本合計	1,103,073	687,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,549	△9,411
その他の包括利益累計額合計	△1,549	△9,411
新株予約権	10,693	14,702
少数株主持分	77,658	57,534
純資産合計	1,189,874	749,942
負債純資産合計	2,746,063	2,316,616

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,950,315	2,545,117
売上原価	1,190,275	1,918,216
売上総利益	760,040	626,900
販売費及び一般管理費	677,180	824,231
営業利益又は営業損失(△)	82,859	△197,330
営業外収益		
受取利息	87	2,245
その他	4,545	2,058
営業外収益合計	4,633	4,303
営業外費用		
支払利息	831	8,964
持分法による投資損失	8,248	11,694
その他	1,911	3,940
営業外費用合計	10,991	24,599
経常利益又は経常損失(△)	76,501	△217,626
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4,286	—
特別利益合計	4,286	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,645	—
課徴金	24,150	—
固定資産除却損	—	10,215
貸倒引当金繰入額	—	170,635
その他	—	14,903
特別損失合計	25,795	195,754
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	54,992	△413,380
法人税、住民税及び事業税	119,695	5,216
法人税等調整額	△16,653	14,552
法人税等合計	103,042	19,768
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△48,049	△433,149
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,172	△17,193
四半期純損失(△)	△49,221	△415,955

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△48,049	△433,149
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	—	△7,861
その他の包括利益合計	—	△7,861
四半期包括利益	△48,049	△441,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△49,221	△423,817
少数株主に係る四半期包括利益	1,172	△17,193

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) 重要な後発事象

## (株式取得による子会社化)

当社は、平成23年9月27日開催の取締役会において、アリババマーケティング株式会社の子会社であるグローバルデスク株式会社の発行済全株式を取得して同社を完全子会社とすることを決議し、平成23年10月1日付で同社の発行済株式1,800株(100%)を取得いたしました。

## 1. 株式取得の目的

当社グループでは、スマートフォン・タブレット端末関連事業に注力し、「端末・回線の販売」から「コンテンツの提供」「ユーザーサポート」まで、全方位でお客様への最適なソリューションが提供可能な「三位一体戦略」を展開しております。

一方、グローバルデスク株式会社は、携帯電話や固定回線等のITインフラの提供およびITソリューションの提供分野において実績を持っており、同社を子会社化することで、当社グループは、上記「端末・回線の販売」事業のより一層の強化が見込めます。

本件株式取得は、同社を当社グループにおける戦略子会社として位置づけ、「三位一体戦略」の起点となる「端末・回線の販売」事業を含む直販事業を強化することで、スマートフォン・タブレット端末分野における事業展開をより加速・充実させることを目的としております。

## 2. 株式取得の相手先

アリババマーケティング株式会社

## 3. 取得する会社の名称、事業内容、規模等

商号	グローバルデスク株式会社
代表者	代表取締役 山本康二
所在地	東京都新宿区高田馬場一丁目21番13号
設立年月日	平成18年12月1日
事業内容	携帯電話や固定回線等のITインフラの提供およびITソリューションの提供
規模	資本金 45,000千円(平成23年3月期)
	売上高 441,737千円(平成23年3月期)
	営業利益 12,062千円(平成23年3月期)

## 4. 株式取得の時期

平成23年10月1日

## 5. 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

取得株式数	1,800株
取得価額	156,979千円

※ 上記取得価額は、直前(平成23年6月末日)の1株当たり純資産(87,211円)を基に、算定しております。

取得後の持分比率	100%
----------	------